

平成27年度

# 事業実績

地域福祉活動

ボランティア・市民活動センター

在宅福祉サービス事業

法人運営

豊岡市社会福祉協議会

## 目 次

<u>平成27年度事業活動の総評</u> . . . . .	2
<u>使命1 自ら行動し地域を動かす社協</u> . . . . .	3
<u>1. 多様な住民ニーズを受け止めて対応する機能の整備と充実</u> . . . . .	3
<u>2. 地域とのつながりのある関係</u> . . . . .	5
<u>3. 総合相談体制の構築</u> . . . . .	7
<u>使命2 つながる・つなげる社協</u> . . . . .	13
<u>1. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへの体制づくり</u> . . . . .	13
<u>使命3 信頼される社協</u> . . . . .	16
<u>1. 社協の事業体組織としての機能強化及び運営強化</u> . . . . .	16
<u>2. 職員の人材育成に向けた基盤整備</u> . . . . .	18
<u>3. 安定した財源確保と健全な財政運営</u> . . . . .	20
<u>豊岡市社会福祉協議会事業活動</u> . . . . .	21
<u>1. 地域福祉活動</u> . . . . .	21
<u>2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習</u> . . . . .	31
<u>3. 在宅福祉サービス</u> . . . . .	33
<u>4. 法人運営</u> . . . . .	35
<u>5. 介護保険・障害者サービス</u> . . . . .	40

## 平成27年度事業活動の総評

昨今の社会状況が急激な変化を見せる中、平成27年4月、介護保険制度が改正されました。その内容は、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築の実現」を目指したものです。また、同時に平成30年3月末の要支援問題等、支援が必要な方を地域で支えていく体制の構築、取り組みが求められています。

もう一つの大きな流れとして、平成29年4月に市内全地区公民館圏域で一斉スタートする「新しい地域コミュニティ」の体制構築が本市の地域福祉推進に大きな影響を及ぼすことが想定されています。区公民館圏域での生活課題・ニーズの集約、課題解決に向けた協議・実行が示される中、生活支援コーディネーターを中心に地区公民館圏域と行政区圏域の生活課題の整理・共有に取り組みました。

従来から本会が推進してきた地域住民が主体となった地域の支え合い体制の構築・発展に向けて、多様な住民ニーズを受け止めて対応できる組織体制の整備、階層別の研修による人材育成の強化に取り組みました。また、地域福祉を確実に実行できる財源確保に向けて介護保険事業の経営を強化しました。

『第2次豊岡市地域福祉推進計画』の3年目となる平成27年度は、地域住民が抱える多様な生活課題を受け止め、地域を基盤とした解決につなげる支援やその仕組みづくりの構築に重点的に取り組みました。

今後更に、地域住民の身近な存在として、必要とされるためには、「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」を基本理念とした『基盤強化計画』に基づき、しっかりと経営戦略・財政計画を打ち出し、組織理念の浸透、業務の見直しや目標管理制度により役職員が一体となって組織体制の基盤強化を強力に進めていかなければなりません。

## 基本理念

「一人ひとりが つながり 支え合う 安心な地域づくり」

## 【使命1】

### 自ら行動し、地域を動かす社協

～住民のニーズをキャッチし、解決に向けて行動します～

## 1. 多様な住民ニーズを受け止めて対応する機能の整備と充実

平成27年4月、介護保険制度が大幅に改正されました。その内容は、現在の団塊世代が後期高齢者となる2025年を見据えて、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステムの構築の実現」を目的としています。

主な施策の中で、市町村事業（総合事業）として、高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な主体による重層的な生活支援・介護予防サービス（配食、家事援助、移送等）の提供が位置づけられました。

また、自治会・行政区圏域といった小地域における交流サロン・コミュニティカフェ（居場所づくり）、声かけ・見守り訪問（見守り）、家事援助・配食（生活支援）等、従来から本会が推進してきた住民同士による支え合い活動の充実も制度改正の中で位置づけられ、本会として地域住民が主体となった地域づくり支援の一層の強化に取り組みました。

### （1）生活支援係、生活支援コーディネーターの新設

今回の制度改正の中では、地域での支え合い体制の構築を中心的に進めることを目的として「生活支援コーディネーター」の配置が義務づけられており、本市においては本会が市より委託を受け、本年度4月から生活支援係を新設し、6名の生活支援コーディネーターを配置しました。

#### ①生活支援コーディネーターの役割

- ア) コミュニティワーカーと連携した住民のニーズ、生活課題、社会資源の把握及び住民への課題提起
- イ) 生活支援の担い手の発掘、養成およびサービスの開発（空き家を活用した住民主体のミニデイサービス、家事援助などの生活支援の担い手のグループ化等）
- ウ) 小学校区圏域に地域の支え合い組織（サロン世話役や見守り活動の実行者等）、民生委員、民間企業等から構成される「協議体」づくり
- エ) 生活支援ニーズと支え合い活動のマッチング

## ②地域福祉研修会の開催

生活支援コーディネーターは毎週2回のミーティングを実施する中で、2025年問題を見据えた地域づくりに向けて行政区、小学校区、旧市町圏域で必要な住民、専門職の取り組み、施策・方策等について協議・研究を重ねました。

その中の取り組みの第一段階として、住民同士が地域（行政区）で支え合う体制づくりの啓発を目的として、市高年介護課とともに市内全31カ所（地区公民館単位）で「地域福祉研修会」を開催しました。

地域	地区	開催日	参加者数 (人)	地域	地区	開催日	参加者数 (人)
豊岡	八条	H27.11.13	32	日高	国府	H27.10.28	37
	市街地北	H27.11.11	36		八代	H27.9.28	19
	市街地中	H27.10.14	34		日高	H27.10.16	63
	市街地南	H27.11.12	32		三方	H27.10.7	46
	三江	H27.10.21	37		清滝	H27.11.2	21
	田鶴野	H27.11.25	27		西気	H27.11.4	24
	五荘	H27.10.2	64	出石	弘道	H27.11.26	48
	新田	H27.10.5	25		菅谷	H27.10.21	16
	中筋	H27.10.15	40		福住	H27.10.30	22
	奈佐	H27.11.9	44		寺坂	H27.11.6	18
	港	H27.11.16	38		小坂	H27.10.26	44
	神美	H27.10.22	28		小野	H27.11.18	16
	城崎	城崎	H27.10.27	45	但東	資母	H27.11.19
竹野	竹野	H27.10.23	64	合橋		H27.11.5	25
	中竹野	H27.11.7	19	高橋		H27.11.7	61
	竹野南	H27.10.8	44	合計		1,097	

参加者	区長、民生委員、民生協力委員、福祉委員、いきいきサロン世話役等
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○データを使った本市の急激な少子高齢化、人口減少、それに伴う家族や地域の中の助け合い・支え合う必要性についての気づき</li> <li>○日高地域東構区で実施されている「ふれあい喫茶」の映像を使った支え合い活動の提示</li> <li>○行政区毎のグループワークで、現状の支え合い活動の点検、今後発展させたい・取り組みたい活動について検討</li> </ul>

研修会を通じて、本市の急激な少子高齢化の進行、介護保険制度改正に伴う小地域（行政区）における見守り、居場所づくり、生活支援の必要性について住民の気づきの場面となりました。

また、研修会後には、各行政区の区長等とグループワークのまとめをふり返るとともに、サロンやふれあい喫茶の立ち上げを検討している行政区には他地域の活動紹介や助言を行ったことで、新たな居場所づくりの立ち上げへとつながりました。

## **（２）横断的な住民ニーズの集約・分析、地域へのフィードバック**

各部署・事業所でキャッチした住民ニーズや生活課題を組織として横断的に共有する場として「職員ミーティング」に取り組みました。（地区センター単位で週１回程度）。

また、生活支援コーディネーターが中心となり、各職員が持つ訪問先の利用者やその家族、地域住民のニーズや生活課題の情報を整理した上で横断的に共有し、課題解決に向けた意識の共有、フォーマルサポート（介護保険サービス等）とインフォーマルサポート（住民の見守り、サロン参加への声かけ、ゴミ出し等）の組み合わせによって、課題を抱える利用者・世帯への効果的な支援につなげました。

また、情報の共有に止まらず、地域の生活課題の解決に向けて支援目標を共有し、各部署・事業所の役割の明確化、事例検討を通じて連携が強化され、組織として課題解決に取り組む体制づくりを進めています。

## **２．地域とのつながりのある関係**

---

本会では、第２次地域福祉推進計画の重点目標として掲げている「支え合いの地域づくり（福祉委員会）」を推進するため、地域住民自身が主体的に地域づくりに取り組むことができる仕組み・体制（組織化）づくりを計画的に進めました。

### **（１）新しい地域コミュニティ組織の支援**

地区公民館を拠点として地域住民が主体となって地域課題の解決や新たな取り組み推進する「新しい地域コミュニティ組織」の平成２９年度からの本格始動に向けて、２５地区（H28.3月末現在）がモデル地区として設立準備委員会を中心に、地域課題の整理や組織体制等について協議を展開しています。

新しい地域コミュニティ組織の重点機能のひとつである地域福祉部が地域課題の共有・協議やマネジメント機能等をもつ部門となるよう生活支援コーディネーターを中心に設立準備委員会に参画し、行政区と地区のそれぞれの課題やできることを整理しながら、本部会が行政区では解決できない生活課題の共有、解決に向けた協議の場となるよう提案・働きかけを行いました。

## (2) 福祉委員会組織（見守り会議）の支援

### ①地域ニーズ・生活課題の抽出、取り組みへの展開

新しい地域コミュニティ地域福祉部会が地域福祉の中核的な組織として機能するには、その土台となる行政区の課題解決力の底上げ（支え合いの仕組み）が必要であり、その基盤組織となる福祉委員会組織（見守り会議）の構築と活動の展開に重点的に取り組みました。

行政区の支え合いの仕組みづくりは、各行政区の担当コミュニティワーカー、生活支援コーディネーター等の地域福祉担当職員が支え合いマップづくりやサロンの世話役等からキャッチした地域課題を整理・分析し、①居場所づくり②見守り会議③生活支援（買い物、移送、雪かき、食事、介護等）の三段階のステップで推進を図り、特に第一、第二ステップの居場所づくり、見守り会議の推進に重点的に取り組みました。

#### ア) 居場所づくり

支え合いの地域づくりに向けた取り組みです。住民同士が気軽に顔を合わせられる居場所づくりは、地域福祉担当職員が区役員や地域福祉活動実践者に働きかけたことで、住民の居場所づくりに対する意識が高まりを見せ、ふれあい喫茶やサロンの立ち上げにつながっています。

特に、ふれあい喫茶はその手軽さが参加者、スタッフに受け、近年急速に増加しています。

また、サロン、ふれあい喫茶の時だけの交流にとどまらず、スタッフを中心として参加されない方への声かけや情報共有等の取組みが継続的に実施されている行政区も見られます。

#### イ) 見守り活動

支え合いマップづくり等で地域の生活課題を共有した行政区においては、生活課題の解決に向けて、区役員や住民が独居高齢者や気になる世帯の見守り訪問をグループで実施し、その場で情報共有を行い、継続的に住民が話し合う見守り会議が福祉委員会やサロン開催時に併せて実施される等の見守り活動が展開されています。

見守り会議を通じて、気になる世帯の見守り訪問やサロンへの参加につながっているケースもある一方、支え合いマップづくりから生活課題が共有されるものの、具体的な話し合いに発展しない行政区もあることから、地域福祉担当職員が、住民に生活課題の解決に向けた継続的な話し合いの場の必要性への気づきを働きかけるとともに、話し合いの場において課題や解決に向けた方向性の整理等のファシリテート力を高めることが必要となっています。

## (3) 福祉委員会（見守り会議）の評価体制

各行政区で福祉委員会（見守り会議）の体制が計画的に推進されるよう、計画的に小

地域福祉活動の支援に取組み（地域課題や社会資源の整理・分析、居場所づくり、見守り会議の推進等）、その取り組んだ活動内容と効果・課題を地区センター運営委員会に報告し、評価を受けることで福祉委員会（見守り会議）の構築が着実に推進される体制づくりを進めました。

第2次地域福祉推進計画の評価・検証機関である地域福祉推進委員会においても、地域福祉研修会の取り組み状況、福祉委員会（見守り会議）の体制構築に向けた活動内容について報告し、評価・検証を実施しました。また、第2次地域福祉推進計画の各取り組みについて中間報告を行い、市と一体的に策定する第3次計画に向けて効果・課題について評価・検証を行いました。

#### 【地域福祉推進委員会の開催状況】

開催日	協議事項
H27.7.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成26年度地域福祉推進状況について（ふり返り）</li> <li>平成27年度地域福祉推進計画重点的取組みについて</li> <li>住民の生活課題の気づきの場（校区研修会）について</li> </ul>
H27.12.24	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域福祉研修会の報告及び今後の地域福祉活動の推進について</li> <li>第2次豊岡市地域福祉推進計画の評価について</li> </ul>
H28.3.17	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度地域福祉推進進捗状況について</li> <li>平成28年度以降の地域福祉推進委員会について</li> </ul>

### 3. 総合相談体制の構築

本市の福祉相談窓口は、同一世帯が「高齢者」「障害者」「ひきこもり」「経済的困窮」等複合多問題を抱えているケースでは、相談を受けた窓口がどんな相談も断らず受け止めて対応をすることができていない状況にありました。また、アウトリーチが十分されていないため、課題が早期発見・早期対応されず、重症化してから支援の必要性が把握される世帯も少なくありませんでした。

平成26年4月に総合相談・生活支援センター準備室を開設し、市・社協庁内の各部・課の横断的な調整・バックアップ機能を果たしながら複合多問題世帯への支援を中心的に行ってきました。

しかし、複合多問題世帯への支援には、これに加え、専門職によるアウトリーチ、サービス提供機関へのコーディネート、庁内連携体制の構築、地域の社会資源開発など、相談者、関係機関、行政、地域住民をつなぎながら支援の見立てを行い、解決までの一貫したマネジメントを行う福祉総合相談拠点が必要不可欠でした。

平成27年4月、市役所立野庁舎内に総合相談・生活支援センター、障害者基幹相談



支援センター、豊岡地域包括支援センターから成る総合相談センターを設置し、それぞれの担当領域の利用者が抱える問題だけでなく、迅速な連携体制、密接な情報共有のもと、複合多問題世帯を中心にチームアプローチによる課題解決に取り組みました。

### (1) 総合相談・生活支援センター

平成26年4月より生活困窮者自立促進支援モデル事業を豊岡市から委託を受け、「総合相談・生活支援センター準備室」を立ち上げ、生活困窮者への包括的・総合的支援の中心的役割を担いました。

平成27年4月「生活困窮者自立支援法」施行に伴い、生活困窮者自立相談支援事業を豊岡市から受託し、「総合相談・生活支援センター」を開設しました。

対象者（生活困窮者）を経済的困窮だけにとらわれるのではなく、様々な生きづらさを抱え、社会的に孤立もしくは排除されている方、複合多問題世帯、制度の狭間にある方など幅広く受け止め相談支援を行いました。

自立支援プランを作成し、本人の意欲や力を高める支援を、関係機関・団体、地域住民等と「一人」を支えるネットワークの構築、生活困窮者の「日常生活自立」「社会生活自立」「経済的自立」に向けて取り組みました。

また、個別支援を通じて、「一人」を支える地域づくり（地域支援）をめざし、地域福祉課地域福祉係・生活支援係、各地区センターの地域福祉担当職員と連携しながら活動を展開しました。

### ○市内トータルサポート体制の構築（入口づくり）

市と社協の市内連携による生活困窮者の早期発見・早期対応、各部署が連携した包括的な自立相談支援の実施を目的とした「豊岡市総合相談支援ネットワーク推進協議会」の運営を担いました。

同協議会は、豊岡市（健康福祉部各課、こども教育課、こども育成課、生活環境課、各振興局）、社協（企画総務課、在宅福祉課、地域福祉課、総合相談センター、各地区センター）で構成され、支援システム全体の評価等を行う「総合相談運営会議」（管理職レベル）、困難事例の研究や社会資源開発等を行う「総合相談支援チーム会議」（実務者レベル）の二層構造にて、市と社協のネットワークによる早期発見、問題解決に向けた取り組みを進めています。

### ○地域住民とともにつくる社会資源開発（出口づくり）

地域から孤立している生活困窮者に対して、生活困窮者の思いを代弁し、見守りしてもらえる方を作る働きかけを、行政区の福祉委員会（見守り会議）や支え合いマップづくり等の機会を通じて行いました。

また、地域福祉担当職員と連携し「一人」を支える地域住民と専門職のネットワークづく

りに取り組み、出口づくりに向けた取り組みが行われた地域がある一方、具体的な資源開発が進んでいない事例もあります。

#### 主な活動事例

- ▶ 生活困窮者の住んでいる地域（区の会館）で地域住民とともに個別支援会議を行い、地域住民と専門職の協働による課題解決に取り組みました。
- ▶ 行政区の福祉委員会（見守り会議）に参加し、地域から孤立している生活困窮者の思いや生活状況を伝え、地域住民の理解とサポート体制づくり（見守り訪問、地域行事への参加への声かけ等）を行いました。
- ▶ 認知症高齢者徘徊ルートを地域住民や商店の協力による見守り支援体制づくりを、民生委員やケアマネジャー、地域包括支援センターと協働して行いました。

## （2）障害者基幹相談支援センター

障がい者の総合相談機関として、ひきこもり、貧困、虐待、就労、施設から地域生活への移行等さまざまな相談に応じ、障がい者が住み慣れた地域でその人らしく暮らせるよう関係機関、地域住民と協働しながら支援を行いました。

支援しているケースには、利用者本人だけでなく、その家族も支援が必要と思われる（判断力の欠如、虐待の恐れ等）グレーゾーンの方も多く、世帯全体のサポートを重点的に行いました。

利用者の心身の状況、その置かれている環境に応じて、関係機関と連携を図りながらサービス利用計画を作成するなど援助を総合的に行いました。

また、基幹型相談支援センターとして他の相談支援事業所では対応できない複合的多問題世帯への対応に取り組み、困難事例への同行訪問、助言を通じた他の相談支援事業所へのバックアップ体制の構築に取り組みました。

## ○豊岡市障害者自立支援協議会

豊岡市障害者自立支援協議会の運営を担い、各相談支援事業所、障害福祉サービス事業者、市関係課等とともに障がい者を取り巻く課題の解決に向けて、テーマ別に4つの部会で協議・研究を行いました。

部会	内容
せいかつ部会	重度心身障がい児へのサポート体制や在宅での医療行為の人材不足の現状について調査を実施。
こども部会	障がい児の放課後や夏休み期間中の居場所（放課後児童クラブ等）の確保について調査を実施。 障がいのある児童の保護者同士のグループ化の支援を実施。
しごと部会	支援者アンケート調査から支援者の障がい者の特性へ対応するスキル

	が不足していることや、公共交通機関による通勤が困難なことが、就労の意志・能力があっても望みどおりに働くことができない方が多いことの要因であることが明らかとなり、就労体験のあり方について幅広い業種の企業と検討を重ねました。
相談支援グループ	ヘルパーの人材不足問題や事業所サービス管理者の連携のあり方について協議・研究を行いました。

各部会で検討した課題・改善事項・取組みについて来年度も継続して取組み、必要に応じて市へ提言を行います。

### ○障害者虐待防止センター

障がい者の尊厳・権利が守られ地域で安心して暮らしができるように、関係機関と連携を図りながら障がい者に対する虐待（身体的・精神的・金銭的・ネグレクト等）に早期発見に取り組み、今年度は6件の虐待通報を受理し、市社会福祉課等と連携しながら対応を行いました。

また、関係機関・事業所への普及啓発活動に取組み、虐待防止法の趣旨や通報義務の周知を行いました。

### (3) 地域包括支援センター

高齢者の総合相談機関として保健・医療、権利擁護、認知症等さまざまな課題について相談に応じ、高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活できるように介護サービス事業所、民生委員、区役員、地域住民、市関係各課等と個別ケース会議を通じてそれぞれの役割を整理しながら支援を行い、さまざまな不安・困りごとを抱える高齢者の安定した在宅生活を支えました。

また、平成27年4月に豊岡地域包括支援センターの運営を市から受託したことで本市全地域包括支援センターの運営を本会が担うことになり、豊岡地域においても、地域福祉担当職員、関係機関、地域住民等と連携した高齢者あるいはその世帯の課題の早期発見・早期解決に向けた体制が強化されました。

平成27年4月の介護保険制度改正により要支援1、2の方への支援が市事業（総合事業）としてNPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な主体による重層的な生活支援・介護予防サービス（ミニデイサービス、家事援助、配食等）へ移行される中、利用者への制度改正の周知、円滑なサービス移行調整等を行いました。

また、各地域包括支援センターが6つの圏域毎に地域の実情に合わせた地域包括ケース会議を開催し、地域の関係機関等多職種協働のもと個別事例の検討を通じた地域課題の把握、地域のネットワークの構築やケアマネジャーによる支援に取り組みました。

#### (4) 社協がもつセーフティネット機能による支援

福祉サービス利用援助事業や資金貸付事業（生活福祉資金、法外援護資金）等の社協のセーフティネットを活かして、判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者や低所得者の生活の安定・自立を促しました。

##### ① 福祉サービス利用援助事業

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者の福祉サービス利用や日常的な金銭管理の支援を行いました。認知症高齢者や障がい者の安定した地域生活を支える事業として、本事業のニーズは益々高まっており、金銭管理にとどまらず、就労、住宅、居場所、疾病、家族関係等、生活全般に係るさまざまな支援を行い、利用者の生活改善や生活困窮の予防の役割を果たしました。

しかし、本事業でこのように広範に課題に対応する背景には、課題が多岐にわたり、また制度の狭間にある問題が多く、つなぎ先がなかったり、どの機関が主導的に支援を調整するのか曖昧であったりするため、本事業が制度の枠を超えて対応している現状があります。

今後は、地域包括支援センターや障害者基幹相談支援センター等の関係機関と連携を図りながら、役割を明確にし、ネットワークでさまざまな課題に対応する体制の構築を図る必要があります。

##### 契約数（平成28年3月末現在）（単位：件）

豊岡市	香美町	新温泉町	合計
62	19	2	83

##### 契約者内訳（単位：人）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
32	26	22	3	83

##### ②生活福祉資金、法外援護資金

低所得者、障がい者、高齢者に対し、資金の貸付と相談支援を行うことで、経済的自立と生活の改善を促しました。

資金貸付相談に至る理由は、失業、離婚、債務返済、資金返済中に再度貸付を希望するケース等がありますが、償還が見込めないため貸付に至らないケースもあります。

貸付に該当しなくても、何らかの支援の必要性があるケースについては、総合相談・生活支援センター、市生活援護係等と連携を図りながら対象者の地域生活を支援しました。

○生活福祉資金貸付状況

資 金 種 類	件 数	貸付金額
福祉資金	2 件	5 8 7 , 0 0 0 円
教育支援資金	2 件	6 9 4 , 0 0 0 円
総合支援資金	8 件	1 , 5 3 0 , 8 2 0 円
緊急小口資金	1 5 件	8 8 7 , 0 0 0 円
臨時特例つなぎ資金	5 件	1 7 0 , 0 0 0 円

○法外援護資金貸付状況

貸付件数	1 9 件
貸付金額	8 9 0 , 0 0 0 円

## 【使命2】

### つながる・つなげる社協

～新たなつながりをつくり、先駆的な取り組みに挑戦します～

## 1. 地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへの体制づくり

社協は、把握した住民ニーズに基づいて、先駆性を発揮しながら、事業・活動の開発や改善等に取り組んできました。また同時に、制度から漏れた人々や目まぐるしい制度変化等への対応を行うなどの即応性も求められています。

今年度は社協の先駆性を活かした「緊急食料支援事業」がスタートし、住民ニーズに基づいた新たなサービスの開発を行いました。

しかし、既存事業については、その効果・課題について十分な評価・検証を行わないまま、例年同様の内容で繰り返し実施しており、地域の福祉ニーズに対応した新規事業・サービスを立案・検討する基盤が脆弱な状態にあります。

各既存事業の効果・課題・継続性等の評価・検証と、新たな事業・サービスの開発について検討できる体制を整備し、制度の狭間にある地域の福祉ニーズ・課題を解決できる基盤を強化する必要があります。

### (1) 新規事業・サービスの開拓に向けた協議体としてのテーブルづくり

#### ①緊急食料支援事業の実施

失業や疾病など様々な理由で食べるできない生活困窮世帯に、緊急的に食料を提供し、自立に向けた支援につなぐことを目的に、平成27年5月に「緊急食料支援事業」が始まりました。

事業の仕組づくりは、「豊岡市総合相談支援ネットワーク推進協議会」の支援チーム会議にて、後藤至功氏（佛教大学福祉教育開発センター講師）の指導の下、各部署の実務者が生活困窮世帯、複合多問題世帯の課題解決のためのアイデアを出し合い、検討・研究を行いました。

同協議会を構成する市と社協の各部署に緊急食料支援事業の申込書を配置し、各部署の実務者が日常業務の中で、生活困窮者の早期発見に務め、速やかに総合相談・生活支援センターにつなぐ仕組みを作っています。

緊急食糧支援に併せ資金貸付、場合によっては生活保護申請による緊急的な経済的支援が必要なケースが多くあります。そのようなケースの要因として、障がいや精神疾患により就労ができない、金銭管理能力が乏しく、家計管理支援が必要なケースが多く、長期的、継続的な関わりが必要となっています。

また、公共料金滞納により、ライフラインが止められている状況に関しては、緊急の資金貸付が必要となりますが、保証人が立てられず借入ができないケースもあり、生活困窮世帯を支えるための新たな支援等について検討進める必要があります。

#### ○提供する内容

米、レトルト食品、カップ麺、パン、飲料水、ベビーフード、粉ミルクなど  
 (世帯構成人員により柔軟に対応。窓口もしくは自宅訪問による食料提供)  
 電気やガスが止められているケースに対し、カセットコンロの貸し出し(4回)、水道が止められたため、水タンクにより水道水の提供を行ったケース(1回)がありました。

#### ○支援期間

原則7日間(14日間支援が6ケース)

#### ○支援実績

27件

### (2) 障害者(児)の居場所づくり等による社会参加の拡大

障害者(児)の社会参加の機会、当事者同士や地域住民との仲間づくり等を目的として、気軽に集える居場所づくりを行いました。企画・運営、実施までの準備等に関して、地域住民や学生が主体となって関わるなど、障害者(児)の居場所として定着化が進みました。

地域	実施回数	場所	延べ参加者数
豊岡 (北中校区)	4回	五荘地区公民館	71人
豊岡 (南中校区)	2回	喫茶「ラ・ティエラ」	49人
城崎	3回	城崎健康福祉センター	90人
日高	3回	日高健康福祉センター	103人
出石	3回	出石健康福祉センター	166人
但東	3回	但東健康福祉センター	72人

### (3) 災害救援活動体制の強化

社協活動の根拠は「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」であり、普段の地域福祉活動の延長線上として災害を未然に防ぐこと、そして、災害が発生した際には速やかに普段の暮らしを復興していく災害救援活動があることから、災害救援活動は社協活動から切り離すことはできないものです。

#### ① 豊岡市との連携強化

- ・平成27年7月の台風11号時に、市災害警戒本部へ災害対策現地情報連絡員（リエゾン）を派遣し、災害情報を共有。
- ・平成27年8月30日（日）、豊岡市震災総合防災訓練に参加し、市と連携を取りながら災害ボランティアセンター設置・運営の訓練を実施。



## 【使命3】

### 信頼される社協

～地域福祉をしっかりと推進できる社協組織をめざします～

## 1. 社協の事業体組織としての機能強化及び運営強化

社協は市民が抱えるニーズ・福祉課題を解決するべく、新たなサービス等の開発に先駆的に取り組む事業体組織としての機能を担いますが、本会は介護保険等の制度改正や目まぐるしく変化する社会情勢に素早く対応することができていませんでした。

また、社協活動には、住民参加が何よりも不可欠です。この住民参加の大きなひとつの手段として、理事会、評議員会、地区センター運営委員会や各部会・委員会等での住民参加の場はありますが、地域住民や選出団体が様々な意見を積極的に出しあうプラットフォーム（※）機能が弱い状況です。

地域住民ニーズ・福祉課題に迅速に対応できる組織づくりを目指して、マネジメント機能の強化、住民参画による組織運営を担保できるよう理事、評議員、運営委員の選出区分・役割や、部会・委員会のあり方等について総務部会を中心に検討を行いました。

※プラットフォーム：地域において住民や各団体、関係機関が集まり意見交換をできる場やその機能。

### (1) 理事・評議員の定数、選任区分の見直し

社会福祉法や介護保険制度の改正などの社会情勢の変化に対し、法人運営或いは事業経営について迅速に協議・決定ができ、組織のマネジメント機能が強化できるよう平成28年度の役員改選に向けて総務部会を中心に理事・評議員の定数・選出区分の見直しを行いました。

#### ①理事の選任区分（H28.4.3 施行）

選出区分	改正前	改正後
各地区推薦	12	6
行政	1	1
豊岡市区長連合会	1	1
民生委員児童委員連絡協議会	1	1
学識経験者	3	4
合計	18	13

## ②評議員の選任区分（H28.4.3 施行）

選任区分	改正前	改正後	選任区分	改正前	改正後
自治会	6	6	共励会→女性団体	1	1
民生委員・児童委員	6	6	市議会議員	1	1
福祉委員	6	6	施設→福祉施設	3	1
ボランティア	6	1	学校関係	1	1
老人クラブ	1	1	青少年関係	1	1
身障会	1	—	学識経験者	6	4
手をつなぐ育成会	1	—			
障害者団体	—	1			
計				40	30

## ③各部会・委員会の再編（H28.4.3 施行）

住民からの要望を受け止め、活動に反映できる仕組みづくりと、社協活動への参加意識を醸成できるよう、既存の6つの部会・委員会を4つに再編するとともに、役割を明確に位置づけました。

改正前	改正後	役割
総務部会	経営戦略部会	将来予測に基づいた経営方針や、組織再編、雇用体系や給与制度等の見直し等の協議
地域福祉部会	地域福祉部会	地域課題や新たなニーズに対応できるよう、先駆的な取り組みや既存事業の見直しに向けた協議
市民ボランティア部会	地域福祉部会に含む	
介護保険部会	在宅福祉部会	利用者のニーズに合った新たな形態のサービスや事業の実施、既存事業の見直し等、安定した介護保険事業の運営に向けた協議
生活福祉資金貸付調査委員会	貸付調査不要のため廃止	
善意銀行運営委員会	善意銀行運営委員会	預託金を配分先の見直しを含め、地域福祉活動推進のため適正な使い途について協議
合計6部会	合計4部会	

## ④地域福祉推進委員会（H28.4.3 施行）

地域住民の参画を得て、地域課題やその解決方法を検討する機能を強化するため、地区センター運営委員会を地域福祉推進委員会へ名称変更し、役割と機能を明確にしました。

## (2) 生活支援係、生活支援コーディネーターの新設

目まぐるしく変化する社会情勢に迅速に対応できる体制を整えるため、平成27年4月、地域福祉課内に生活支援係を新設し、6名の生活支援コーディネーターを配置し、介護保険制度の改正により地域の支え合い活動がより重要となる中、地区公民館圏域の支え合い体制の構築に向けて、地域福祉研修会で地域住民へ介護保険制度改正や支え合い活動への気づきの促し、或いは新しい地域コミュニティ組織（設立準備委員会）へ参画し、連携体制の構築に取り組みました。

## (3) 在宅福祉課による介護サービス事業所の統括管理

平成27年4月、介護サービス事業所の統括管理を地区センターから在宅福祉課に移行しました。

これにより、各事業所のサービス提供体制の均一的なバックアップ体制や事務作業の均一化を整備することができました。

## 2. 職員の人材育成に向けた基盤整備

平成27年3月に策定した人材育成基本方針に基づき、具体的な年度の取り組みを示した「人材育成計画 平成27年度実施計画」を策定しました。各研修では、参加した職員全員が、研修内容をしっかりと理解しOJTにつなげるため、研修報告書の作成、提出を義務づけました。また、指導的職員、管理職員が参加する研修においては、研修後各部署内において「伝達研修」を行い、職場内で研修内容を共有し意見交換できる場を作りました。また、やむを得ず研修に参加できなかった職員に対しては補講を行うなど、対象職員全員が研修を受ける体制を整えました。

今年度より、職員の職務遂行能力の向上や資質向上を図ることを目的に、資格取得経費助成制度を設け、資格取得を支援する体制を整えました。

今後は、本会の組織理念、使命の達成に向け、「業務目標管理制度」に合わせコンプライアンスや業務改善による組織風土の改善も重視し、職員一人ひとりが能力向上する人材育成を推進していきます。

## 職員研修の実施

	開催日	対象	内容
新任職員研修	H27.4.1	平成 27 年度 入職職員	講義：社会福祉協議会・基本 理念等について、 事業・活動について、 接遇・ マナーについて
リスクマネジメント研修	H27.8.25	管理職・指導的職員	講師：FPM-α 専任講師 講義：リスクマネジメントとは、 職場改善とリスクマネジメント グループワーク：コンプライアンスの破たんや業務上のリスクが発生する原因、不祥事根絶と風通しの良い職場風土作りを考える
接遇・コミュニケーション研修	H27.9.18	新任職員、希望者	講師：FPM-α 専任講師 講義：なぜ接遇マナーが必要なのか、接遇マナー・市民対応の基礎、信頼関係構築のためのコミュニケーション、職場実践へのアプローチ
目標管理研修	H27.10.28	管理職・指導的職員	講師：FPM-α 専任講師 講義：目標管理とは、目標の重要性や効果、目標設定の仕方
メンタルヘルス研修～セルフケア～	H27.11.26 H27.11.27	希望者	講師：FPM-α 専任講師 講義：ストレスマネジメント、ストレスとは、メンタルヘルスを高めるリラクゼーション
メンタルヘルス研修～セルフケア・ラインケア～	H27.11.26 H27.11.27	管理職・指導的職員	講師：FPM-α 専任講師 講義：メンタルヘルスケアの意義と管理監督者の役割、ストレスと心の病、休職者の職場復帰への配慮事項、管理者のためのメンタルヘルスを高めるリラクゼーション

### **3. 安定した財源確保と健全な財政運営**

---

本会は、社協会費や共同募金配分金、寄付金（善意銀行）等の「自主財源」と補助金、受託金収入等の「公的財源」、介護報酬等の「事業収入」を財源として、地域福祉活動推進に向けた様々な活動を展開するため、安定した財源の確保が求められています。

今年度、将来収支予測を行った結果、介護保険事業収入が制度改正により今後も減収が見込まれ、早急に介護サービス事業所の経営改善と、法人全体のコスト意識の改善に取りかかる必要性が明らかになりました。

#### **(1) 介護保険サービス事業経営の基盤強化**

本会の収入の大半を占めている介護報酬はこれまで制度改正等の影響を受け、地域福祉活動の推進に向けた財源確保に大きな支障を来してきました。

平成27年4月に、介護サービス事業所の統括管理を在宅福祉課に移行し、各事業所のサービス提供体制のバックアップ体制を強化するとともに、在宅福祉課と各事業所管理者から成る「収益改善会議」を定期的を実施し、各事業所が収益改善に向けた目標と具体的な取り組みの設定と、月次レポートの作成、成果・課題の報告など事業経営に目標管理を導入したことで、職員の経営に対する意識が高まり、今年度下半期には介護報酬収入、収益とも前年度対比を上回り、組織改編と目標管理による基盤強化に一定の成果が見られました。

#### **(2) 多様化する介護ニーズに対応できる体制の構築**

夜間、宿泊、日曜日の利用等、介護ニーズが多様化する中で、利用者の住み慣れた地域での在宅生活の維持・継続を守るためには、宿泊、ショートステイ等の多様な機能を有する地域密着型介護サービス事業の拠点づくりが必要です。

今年度、介護保険部会、在宅福祉課を中心に新たな地域密着型介護サービス事業の設置へ向け、サービス内容、地域住民と連携した事業運営のあり方等について研究・検討を実施しました。今後、建設地の確定、人員体制の確保等を整備しながら、利用者ニーズに柔軟に対応できる地域密着型介護サービス事業の設置について検討を行います。

#### **(3) 共同募金、善意銀行等の有効活用**

共同募金配分金事業である相談事業（心配ごと相談、結婚相談）については、地域によって相談件数にばらつきがあり、他機関を利用されているケースが多いことから、社会情勢に応じた効果的な運営のあり方について協議を開始しました。

善意銀行については、社会情勢や地域課題に応じた活用の見直しを行うとともに、新規事業である緊急食糧支援事業への活用を行いました。

# 豊岡市社会福祉協議会事業活動

## 1. 地域福祉活動

### 1-1 地域包括支援センター

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を送ることができるよう、介護予防サービスをはじめ、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行いました。

相談件数 (単位：件)

	介護相談	総合事業	介護予防	介護給付	入退所・院	高齢者福祉	障がい者福祉	保健・医療	権利擁護	認知症に関する事	経済	その他	合計
豊岡	488	1,220	4,153	160	227	271	64	244	314	253	168	323	7,885
城崎・竹野	172	445	1,257	127	106	459	96	159	64	74	109	81	3,149
日高	940	1,419	4,109	340	187	137	35	195	76	195	32	184	7,849
出石・但東	538	717	1,462	244	185	490	114	254	142	92	66	254	4,558
合計	2,138	3,801	10,981	871	705	1,357	309	852	596	614	375	842	23,441

ケアプラン作成件数 (委託件数含む) (単位：件)

豊岡	城崎・竹野	日高	出石・但東	合計
5,388	1,765	2,312	1,885	11,350

### 1-2 障害者基幹相談支援センター

介護、就労、居場所等さまざまな課題を抱える障がい者が自立した社会生活を営むことができるよう、総合相談・生活支援センター、介護サービス事業所等と連携を図りながらサービス利用計画を作成するなど総合的な支援に取り組みました。

また、判断能力が不十分な方の成年後見制度等の利用促進を図るとともに、虐待被害を受けるとともに、虐待の防止・早期発見に努めました。

支援内容 (単位：件)

虐待 無	虐待 有	制度 利用	障害 病状 の理 解	健康 医療	不安 解消	保育 教育	家族・ 人間 関係	家計 経済	生活 技術	就労	社会 参加	権利 擁護	その 他	合計
6,232	317	5,526	119	73	317	59	116	41	28	110	61	5	94	6,549

ケアプラン作成件数 110件

**1-3 総合相談・生活支援センター**

平成27年4月「生活困窮者自立支援法」施行に伴い、生活困窮者自立相談支援事業を豊岡市から受託し、「総合相談・生活支援センター」を豊岡市役所立野庁舎内に開設しました。

対象者(生活困窮者)を経済的困窮だけにとらわれるのではなく、様々な生きづらさを抱え、社会的に孤立されている方、複合多問題世帯、制度の狭間にある方など幅広く受け止め相談支援を行いました。

相談件数 (単位：件)

病気 障害	住まい	収入 生活費	家賃 ローン支払	税金、公共 料金支払	債務	仕事探し	仕事上の不 安、トラブル
52	24	97	22	32	30	59	4
地域との 関係	家族関係 人間関係	子育て 介護	ひきこもり 不登校	DV 虐待	食べるも のが無い	その他	合計
6	26	14	10	3	13	15	407

自立支援プラン作成件数 46件

就職件数 30件

**1-4 福祉サービス利用援助事業**

判断能力に不安のある高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方に対して、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理について、生活支援員や行政、障害者相談支援事業所、福祉施設等の関係機関・団体と連携を図りながら支援を行いました。

□基幹的社協としての事業実施地域…豊岡市、香美町、新温泉町

□契約数(平成28年3月末現在) (単位：件)

	豊岡市	香美町	新温泉町	合計
平成26年度	62	11	1	74
平成27年度	62	19	2	83

□事業の取り組み状況（問い合わせ・相談援助）（単位：件）

福祉サービス利用 援助事業に関して	成年後見制度に関 して	その他	合計
3,092	50	787	3,929

### 1-5 生活福祉資金

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯が抱える制度の狭間や複合的な課題に対して、資金の貸し出しだけに止まらず、総合相談・生活支援センターや関係機関と連携を図りながら、利用者の安定した地域生活の支援を行いました。

資金種類	件数	貸付金額
福祉資金	2件	587,000円
教育支援資金	2件	694,000円
総合支援資金	8件	1,530,820円
緊急小口資金	15件	887,000円
臨時特例つなぎ資金	5件	170,000円

相談件数 360件

### 1-6 法外援護資金

低所得者に対して5万円を限度額として（特別な事情がある場合は10万円まで可）法外援護資金を貸し出すことにより、生活の自立を促しました。貸付期間1年以内。

法外援護資金貸付状況

貸付件数	19件
貸付金額	890,000円

### 1-7 心配ごと相談

誰もが安心して自分らしい生活が送れるよう、地域住民が抱える家族、福祉、生計、住宅など多岐にわたるさまざまな悩みについて、専任相談員や民生委員が相談に応じ、解決のための助言や各関係機関に繋げました。

開設日

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
月～金曜日	第1・3 木曜日	第3 水曜日	毎月10日・ 25日	第1・3 木曜日	第1・3 木曜日



相談件数（単位：件）

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
68件	0件	1件	14件	4件	3件	90件

### 1-8 結婚相談

結婚を望んでいるが、出会いの機会が少ないといったことにより結婚に至らない方へ、結婚相談員が相談・助言や紹介を行いました。また、豊岡市内だけにこだわらず但馬全域の登録者の中で相談員による情報交換を行い、よい出会いの提供に取り組みました。

結婚相談所開設日

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
第1・3 金曜日	第2 木曜日 (偶数月)	第2 金曜日	毎月10・25日	第1・3 水曜日	第1 木曜日

(単位：件)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
相談件数	52	0	9	108	30	3	202
紹介	54	0	5	83	17	6	165
見合い	10	0	4	16	4	0	34
成婚	2	0	5	7	1	0	15
成婚の内、相談員が関わった件数(再掲)	2	0	2	6	1	0	11

結婚相談所登録者（単位：人）

地域	全但登録者数		計	豊岡市内限定登録者数		計
	男	女		男	女	
豊岡	39	16	55	11	10	21
城崎	2	2	4	0	0	0
竹野	3	0	3	0	0	0
日高	0	0	0	29	32	61
出石	21	2	23	7	2	9
但東	12	0	12	0	0	0
合計	77	20	97	47	44	91

## 1-9 婚活事業

20歳～40歳の独身男女を対象に、各種イベントの開催により出会い・交流の場を創出するとともに、婚活サポーターや婚活サポート企業、婚活イベント協力委員等の市民や企業・団体の協力を得ることで、男女の結婚に向けた様々な機会を提供することを目的として事業を実施しました。

はーとピーイベント開催状況

開催日	参加者 (人)	実施場所	カップル数
H27.4.19	19	皿そば巡り加盟店・城山ガーデン	2
H27.5.16	24	城崎町屋地ビールレストラン GUBIGABU	7
H27.5.21	8	男塾(ユニクロ)	
H27.6.7	7	男塾(豊岡1925)	
H27.6.21	24	Sweets&books キノシタ	5
H27.7.4	6	男塾[市民会館(青少年婦人室)]	
H27.7.18	24	dadaTABERIBA	5
H27.8.29	24	ゲストハウス アミーゴ	3
H27.9.26	23	谷間そば	5
H27.10.17	24	SOZAI restaurant Brutus	4
H27.10.25	23	ポルコロッソ	2
H27.11.21	30	豊岡稽古堂 カフェ Lump eye	3
H27.12.5	28	星の蔵	2
H28.1.16	22	アミューズメントスタジオミスモ	2
H28.2.14	23	食堂カフェ cocon	4
H28.3.13	25	アグリガーデン	3
合計	334		47

婚活サポート企業 100社

## 1-10 法律相談

法律の専門家である弁護士が、市民の財産・家族などの身近な法律問題へのアドバイスを行いました。

開設日…毎月第1 火曜日 相談件数…81件

### 1-1-1 福祉団体活動費助成事業

事業の内容…豊岡市内の福祉団体へ社会参加と交流の場づくり、組織化の支援・促進を目的として共同募金配分金事業より支援を行いました。

助成先	金額 (円)
豊岡市老人クラブ連合会	318,000
豊岡市身体障害者福祉協会	312,000
豊岡市手をつなぐ育成会	78,000
豊岡市婦人共励会	186,000
豊岡市民生委員児童委員連合会	624,000
豊岡市遺族会	120,000
豊岡市子ども会連絡協議会	130,440

### 1-1-2 福祉委員活動の推進

地域（行政区）のアンテナ役として、研修等を通じて困りごとの発見、連絡、人材確保など、地域の福祉課題に応じた活動が行われるよう働きかけました。

□福祉委員委嘱数 任期：H28.1.1～H30.12.31 （単位：人）

	豊岡地域	城崎地域	竹野地域	日高地域	出石地域	但東地域	合計
福祉委員	150	31	42	70	51	52	396
推進委員			99				99

□福祉委員研修会

福祉委員が身近な地域の困りごとや、生活しづらさを感じている住民の立場にたち、地域の課題として考え、解決に向けた活動を促進することを目的に開催しました。

地域	開催日	参加者数 (人)	地域	開催日	参加者数 (人)
豊岡	H28.3.15	82	日高	H27.6.18	50
				H28.3.9	53
城崎	H27.9.28	18	出石	H27.9.25	29
	H28.3.3	25		H28.2.25	47
竹野	竹野南支部	9	但東	H27.5.13	18
	H27.6.15			H27.6.11	16
	竹野中支部			H27.6.24	14
	H27.6.17			H27.6.26	21
	竹野支部			H27.7.22	17

H27.6.18	15		H27.8.24	16
三支部合同福祉 委員研修会			H27.9.17	30
H27.9.18	29		H27.9.24	18
福祉委員、民生・ 児童委員、民生協 力委員合同研修 会			H27.10.22	16
H28.2.5	104		H27.11.15	17
			H28.2.5	44
			H28.2.16	18

### 1-13 子ども福祉委員

子どもたちが自分の住む地域やそこに暮らす人の生活や地域活動に関心を持ち、自分に何が  
できるかを考え、地域内の活動に参加するなど、子どもたちの体験活動を展開し、郷土愛の醸  
成と豊かなまちづくりを進めることを目的として小学校の児童に子ども福祉委員を任命しました。

小学校名	人数(人)	小学校名	人数(人)	小学校名	人数(人)
豊岡	12	新田	16	竹野	16
中竹野	31	竹野南	11	日高	82
静修	46	弘道	5	福住	6
小坂	9	資母	12	合橋	10
高橋	8				

合計 264名

### 1-14 住民座談会

住民が地域（行政区）の課題に目を向け、住民自らが考え行動できる地域づくりをすすめる  
ために、困りごとの解決に向け住民ができること、やってみたいことなどを話し合いました。

地域	行政区	実施日	参加者数 (人)
城崎	湯の元	H27.7.31	3
	湯の元	H27.12.16.	4
	元薬師	H27.5.14	7
	元薬師	H27.8.20	6
	元薬師	H27.12.18.	6
	桃島	H28.3.24	6
竹野	金原・よつばの会	H27.6.30	9

	芦谷	H2 7 .1 1 .6	1 1
日高	東河内	H2 7 .4 .1 5	1 5
	万劫	H2 7 .4 .2 8	9
	江原	H2 7 .5 .8	1 3
	栗栖野	H2 7 .7 .7	6
	万場区	H2 7 .7 .1 3	6
	国分寺	H2 7 .8 .2 7	9
	水上	H2 7 .9 .1 3	6
	山田	H2 7 . 1 1 .3 0	3 2
	松岡	H2 8 .2 .2	5 4
	出石	本町	H2 7 .4 .2 5
H2 7 .5 .1 0			2
H2 7 .6 . 8			1
H2 7 .6 .1 0			1 0
寺坂		H2 8 .3 .1 6	5
但東	口藤	H2 8 . 1 . 3 0	1 2
	中藤	H2 8 . 3 . 1 6	1 2

### 1 -1 5 地域探検隊

区の役員や老人会、自主防災組織等のメンバーで区内の危険箇所（防犯、交通事故多発、水害の被害等）の点検を行い、区の歴史や誇るべきもの、次世代へ伝えていきたいことを企画し、子ども会（子どもたちと保護者）に伝えていくため、区内の探検を行い、区の危険箇所や歴史拠点などを楽しく探検し、自分たちが住む地域への関心や愛着を深め、地域内のコミュニティづくりをすすめました。

地域	地区・行政区	実施日	参加者（人）
竹野	羽入	H2 8 . 3 . 2 1	1 3
出石	福住	H2 7 . 6 . 2 8	2 6
但東	高橋地区（大河内）	H2 7 . 1 0 . 4	9 7

### 1 -1 6 ふれあいいいききサロン

地域の中で気軽に参加でき、地域や近隣同士の交流と助け合いや見守り活動をすすめる「ふれあいいいききサロン」の新規立ち上げや安定した運営に向けた支援を行いました。

いきいきサロンの活動助成金として、市社協から開設1～3年目までのいきいきサロンへ年間5万円の助成金を、4～6年目のいきいきサロンへ年間3万円の運営助成を行いました。

□活動状況（助成終了後含む）

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
サロン数	37	11	16	35	24	21	144

□助成件数

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	合計
サロン数	12	14	12	14	13	5	70

### 1-17 子育てサークル

地域の子育てサークルが安定的に活動できるよう、助言や子育て支援ボランティアのマッチング等を行いました。

また、活動助成金として年間2万円を上限として助成を行い、地域全体による子育て・子育て支援活動の推進を図りました。

助成件数…9件

### 1-18 とよおかこどもまつり

地域住民やボランティアによる食育やさまざまな体験コーナーを通じて、子育て中の親子が楽しく交流を深め、子育て支援の輪を広げる機会としました。

開催日	場所	来場者数（人）
H27.6.6	豊岡市民プラザ	750
H27.10.24	豊岡市民プラザ	155

### 1-19 福祉まつり

福祉団体、関係機関、ボランティア等がバザー販売、福祉活動の啓発、ステージ発表等を行い、多くの参加者が交流を深めました。

地域	開催日	場所	来場者数（人）
城崎	H27.10.18	城崎健康福祉センター	600
竹野	H27.10.18	多目的屋内運動広場 竹野健康福祉センター	680
日高	H27.11.8	日高文化体育館	2,000
出石	H27.10.18	ひぼこホール	1,000
但東	H27.10.18	但東健康福祉センター	850

### 1-20 ひとり暮らし高齢者のつどい

食事会、ボランティアによる踊り、ゲーム等を通じて相互交流を深めました。

地域	開催日	場所	参加者(人)
城崎	H27.6.24	天橋立	23
竹野	H27.7.13	竹野建康福祉センター	42
日高	H27.10.23	三方地区公民館	24
	H27.10.27	日高健康福祉センター	48
	H27.10.29	上石公民館	24
	H27.11.11	八代コミュニティセンター	7
出石	H27.12.1	出石健康福祉センター	11
	H27.12.8	出石健康福祉センター	6
但東	H27.11.8	資母地区交流センター	53
	H27.11.8	但東健康福祉センター	43
	H27.11.15	高橋地区公民館	37

### 1-21 障害者(児)なかよしゲーム・スポーツ大会

障害者当事者、作業所職員、ボランティア等による実行委員会が企画・運営を行い、レクリエーション・スポーツを通じて相互理解と交流を深めました。

開催日	場所	参加人数
H27.7.4	豊岡総合体育館	192人

## 2. ボランティア・市民活動センター、福祉学習

### 2-1 ボランティア登録数 (H. 28. 3. 31 現在)

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
グループ数	35	32	15	16	51	19	168
加入者数	1,034	321	405	259	564	507	3,090
個人登録者	467	92	11	71	8	92	741

### 2-2 コーディネート件数

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	計
ボランティア活動の相談・問い合わせ	195	236	20	73	42	194	760
コーディネート件数	232	235	418	48	233	182	1,348

### 2-3 ボランティア連絡会

ボランティア・市民活動センターに登録している個人ボランティア、ボランティアグループを中心として連絡会を開催してボランティア活動の活性化に向けた情報交換を行い、必要な分野では連携できる活動体制づくりをめざしました。またボランティア・市民活動センターと協働してボランティア活動を通して地域の活性化に取り組みました。

	竹野	日高	出石	但東
開催回数	1	3	6	1

### 2-4 児童・生徒のボランティア活動推進事業

豊岡市内小・中・高等学校の児童・生徒を対象として、福祉への理解と関心を高め、「福祉の心」を培うことを目的とする活動を行う学校に、年間5万円の助成金を交付しました。

助成先 45校



## 2-5 福祉学習研修会

豊岡市内小・中学校の福祉学習担当教諭を対象とし、福祉学習が単発の体験で終わる福祉学習ではなく、福祉学習を開催する目的、実施内容・方法、目標を社協、地域と協働し進めていく必要性の理解を目的に開催しました。

開催日	場所	参加者数	内容
H27.8.11	豊岡健康福祉センター	9	講義：気づきの増える福祉学習とは ～地域を子どもたちの学びのステージに～ (講師：新崎 国広 氏) グループワーク：新たな気づき・変化 ～学校での福祉学習の取り組みについて～

## 2-6 ボランティア体験教室

ボランティアグループや関係機関と協働し、福祉を身近な問題として学べる機会として、幅広い体験教室を開催し、参加者の福祉・ボランティアへの関わりの第一歩としました。

□内容…手話、点字・点訳、車いす、ガイドヘルプ、給食サービス、高齢者疑似体験、福祉施設体験、ふれあいいきいきサロン体験 等

□延べ参加人数 1,495人

---

---

## 3. 在宅福祉サービス

---

---

### 3-1 給食サービス事業（食の自立支援事業+自主事業）

ひとり暮らし・ふたり暮らし高齢者などに、ボランティアの協力を得ながら栄養バランスの取れた弁当を作り、お届けしました。

	城崎	竹野	出石	但東	合計
実施日数(日)	149	144	138	147	578
延利用者(人)	2,195	2,803	2,971	3,189	11,158

### 3-2 福祉用具貸与事業（介護保険外）

高齢や障がいなどにより日常生活に支障を伴う方に福祉用具を貸し出し、自立生活の支援を行いました。

貸与品目…電動ベッド、手動ギャッジベッド、車いす、エアーマット、パラフロートマット、松葉杖、歩行補助杖、歩行器、シャワーチェア、ポータブルトイレ、介護テーブル等

貸出件数…377件

### 3-3 家族介護教室・家族介護者交流事業

在宅の介護者に、介護方法や介護予防、介護者の健康づくりなどについての知識・技術を習得する機会の提供や、心身のリフレッシュを図るために日帰り旅行や食事会を行いました。

	城崎	竹野	出石	但東	合計
開催回数(回)	7	6	6	4	23
延参加者(人)	21	64	22	41	148

### 3-4 生きがい活動支援通所事業

高齢者の方の閉じこもりの予防として、仲間づくりや交流の場としての役割を果たしました。また、ゲームや頭の体操などの様々なレクリエーションや、作品づくりをする事で介護予防の効果も果たしました。

	豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東	合計
開催日数	56	24	33	12	208	52	385
延利用者数(人)	243	281	619	118	2,335	599	4,195

### **3-5 米寿者祝福事業**

87歳を迎える方を対象に米寿のお祝いとして、ボランティアの協力を得て記念撮影を行い、9月の高齢者保健福祉月間に民生委員などから写真を贈呈しました。対象者626名中、487名の方が写真を受け取られました。

### **3-6 最高齢者・最高齢夫婦祝福事業**

豊岡市内の最高齢者・最高齢夫婦に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金（各1万円）を贈呈。

### **3-7 新100歳祝福事業**

豊岡市内の新たに100歳を迎えられた方を対象に9月の高齢者保健福祉月間にお祝い金（各1万円）を36名の方に贈呈。

## 4. 法人運営

### 4-1 理事会（理事定数18名）

回数	開催日	開催場所	出席理事数	協議事項
1	H27.4.23	豊岡健康福祉センター	18人+ 監事2人	報告事項6件 第1号議案 豊岡市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 第2号議案 豊岡市社会福祉協議会補欠評議員の同意について
2	H27.5.20	豊岡健康福祉センター	15人+ 監事2人	報告事項2件 第3号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 第4号議案 豊岡市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正について 第5号議案 豊岡市社会福祉協議会部会・委員会規程の一部改正について 第6号議案 豊岡市社会福祉協議会地域福祉推進委員会規程の制定について 第7号議案 豊岡市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部変更について 第8号議案 平成26年度豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第9号議案 平成26年度豊岡市社会福祉協議会決算について 第10号議案 豊岡市社会福祉協議会職員6月賞与について
3	H27.7.23	豊岡健康福祉センター	16人+ 監事1人	第11号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡ケアプランセンター運営規程等の一部改正について 第12号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡ヘルパーステーション運営規程等の一部改正について 第13号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡西デイサービスセンター運営規程等の一部改正について 第14号議案 豊岡市社会福祉協議会日高西

				<p>デイサービスセンター運営規程等の一部改正について</p> <p>第15号議案 豊岡市社会福祉協議会訪問入浴事業所運営規程の一部改正について</p> <p>第16号議案 豊岡市社会福祉協議会福祉用具レンタル事業所運営規程の一部改正について</p> <p>第17号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡ヘルパーステーション運営規程（障害者総合支援事業）等の一部改正について</p> <p>第18号議案 豊岡市社会福祉協議会豊岡西デイサービスセンター運営規程（障害者（児）デイサービス）等の一部改正について</p> <p>第19号議案 豊岡市社会福祉協議会日高西デイサービスセンター運営規程（障害者（児）デイサービス）等の一部改正について</p> <p>第20号議案 豊岡市社会福祉協議会訪問入浴事業所（障害者（児）訪問入浴）運営規程の一部改正について</p> <p>第21号議案 平成27年度共同募金（平成28年度事業費）「地域目標額」の設定に係る豊岡市社会福祉協議会事業充当計画について</p>
4	H27.8.28	豊岡健康福祉センター	16人＋ 監事2人	<p>報告事項3件</p> <p>第22号議案 豊岡市社会福祉協議会補欠評議員の同意について</p>
5	H27.9.24	豊岡健康福祉センター	18人＋ 監事1人	報告事項3件
6	H27.10.22	豊岡健康福祉センター	17人＋ 監事1人	報告事項5件
7	H27.11.26	豊岡健康福祉センター	15人＋ 監事1人	<p>報告事項6件</p> <p>第23号議案 豊岡市社会福祉協議会評議員選任規程の一部改正について</p> <p>第24号議案 豊岡市社会福祉協議会職員12月賞与について</p> <p>第25号議案 平成27年度歳末たすけあい運動配分について</p> <p>第26号議案 豊岡市社会福祉協議会特定個人情報取扱いに関する基本方針について</p> <p>第27号議案 豊岡市社会福祉協議会特定個人情報取扱い規程の制定について</p> <p>第28号議案 豊岡市社会福祉協議会職員就</p>

				業規則の一部改正について
8	H27. 12.17	豊岡健康福祉センター	16人+ 監事2人	報告事項3件 第29号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 第30号議案 豊岡市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 第31号議案 平成27年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について 第32号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員就業規則の一部改正について 第33号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 第34号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第35号議案 豊岡市社会福祉協議会補欠評議員の同意について
9	H28. 1.28	豊岡健康福祉センター	16人+ 監事2人	報告事項4件
10	H28. 2.25	豊岡健康福祉センター	18人+ 監事2人	報告事項5件 第36号議案 豊岡市社会福祉協議会福祉用具レンタル事業所運営規程を廃止する規程について 第37号議案 豊岡市社会福祉協議会職員給与規程の一部改正について 第38号議案 豊岡市社会福祉協議会嘱託・臨時職員給与規程の一部改正について 第39号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤職員就業規則の一部改正について 第40号議案 豊岡市社会福祉協議会非常勤ヘルパー就業規則の一部改正について 第41号議案 豊岡市社会福祉協議会補欠評議員の同意について
11	H28. 3.17	豊岡健康福祉センター	18人+ 監事2人	報告事項4件 第42号議案 平成27年度豊岡市社会福祉協議会第2次補正予算について 第43号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会事業計画について 第44号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算について 第45号議案 生活福祉資金貸付調査委員会

				規程を廃止する規程について 第46号議案 事務局規程の一部改正について 第47号議案 善意銀行規程の一部改正について
--	--	--	--	--

#### 4-2 評議員会

回数	開催日	開催場所	出席評議員数	協議事項
1	H27.5.25	豊岡健康福祉センター	32人	第1号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 第2号議案 平成26年豊岡市社会福祉協議会事業報告について 第3号議案 平成26年度豊岡市社会福祉協議会決算について
2	H27.12.22	豊岡健康福祉センター	30人	報告事項2件 第4号議案 豊岡市社会福祉協議会定款の一部改正について 第5号議案 平成27年度豊岡市社会福祉協議会第1次資金収支補正予算について
3	H28.3.23	豊岡健康福祉センター	28人	報告事項1件 第6号議案 平成27年度豊岡市社会福祉協議会第2次補正予算について 第7号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会事業計画について 第8号議案 平成28年度豊岡市社会福祉協議会資金収支予算について 第9号議案 任期満了に伴う豊岡市社会福祉協議会役員の選任について

#### 4-3 正副理事長会議

開催回数…11回

#### 4-4 管理職会議

開催回数…12回

#### 4-5 地区センター運営委員会

豊岡	城崎	竹野	日高	出石	但東
6回	7回	6回	6回	5回	6回

#### 4-6 善意銀行

件数	金額
341件	14,506,017円

#### 【善意銀行運営委員会開催状況】

開催日	協議事項
H27.12.7	・平成27年度預託状況（上半期）について ・平成27年度10万円以上預託者（上半期）について ・平成27年度事業・収支状況報告（上半期）について 他
H28.3.3	・平成27年度預託状況（下半期）について ・平成27年度収支見込みについて ・平成28年度予算（案）について

#### 4-7 社協会費

##### 一般会費（一世帯年額1,200円）

世帯数	会費納入額	納入世帯数
32,914世帯	28,675,380円	23,919世帯

##### 賛助・施設会費（年額2,000円以上）

賛助会費		施設会費		一般会費との 合計金額
件数	金額	件数	金額	
728	3,178,800円	30	118,000円	31,972,180円



---

## 5. 介護保険・障害者サービス

---

### 5-1 居宅介護支援事業

在宅の要介護・要支援者が介護サービス等を適切に利用できるよう、利用者の依頼を受けて、その心身の状況、生活環境、利用者及びその家族の希望を勘案し、居宅サービス事業所や関係機関と連携・調整を図りました。

延利用者数（単位：人）

豊岡	豊岡北	日高	出石	但東	合計
1,257	1,975	2,935	1,561	1,371	9,099

### 5-2 訪問介護事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの生活援助、また通院介助を行いました。

延利用者数（単位：人）

豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
12,318	4,751	6,529	11,439	14,069	15,701	12,019	76,826

### 5-3 訪問入浴介護事業

看護職員1名と介護職員2名が利用者宅を訪問し、組み立て式浴槽にて入浴、洗髪などのサービスを提供しました。入浴前後には、看護職員が健康チェックを行いました。

延利用者数 1,759名

### 5-4 通所介護事業

要介護・要支援状態にある利用者へ健康チェック、入浴、レクリエーションなどを通じて心身の機能の維持や交流の場を提供しました。また、家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

延利用者数（単位：人）

豊岡港	豊岡西	城崎	竹野	竹野南	日高中央
5,982	5,581	2,653	6,759	2,766	5,415
日高西	日高東	日高八代	但東	合計	
6,333	5,540	1,990	5,910	48,929	

## 5-5 福祉用具貸与事業

利用者の心身の状況、希望及びその置かれている環境を踏まえた適切な福祉用具の選定の援助、取り付け、調整等を行い、福祉用具を貸与することにより、利用者の日常生活上の便宜を図るとともに、その家族の身体的・精神的な負担の軽減を図りました。

延利用者数 10,898名

## 5-6 障害者サービス事業

訪問介護員が要介護・要支援状態にある身体障がい、知的障がい、精神障がいをもつ利用者の居宅を訪問して、入浴、排泄、食事などの介護や、掃除、洗濯、調理などの家事援助や移動介助を提供しました。

- ・居宅介護（身体介護、家事援助、重度訪問、通院介助、同行援護）

訪問回数（単位：回）

豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
1,600	697	433	1,023	366	1,118	1,005	6,242

- ・移動支援

延利用者数（単位：人）

豊岡	城崎	竹野	日高	日高西	出石	但東	合計
30	7	44	0	14	28	1	124